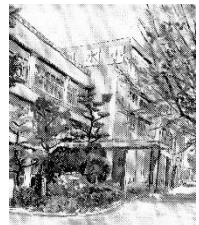




## 校訓

なかよく  
つよく  
しんげんに



菊池市立  
泗水小学校  
学校だより  
第4号  
R3.5.18 発行  
校長 工藤竜一

## 学校教育目標

「仲良く」「強く」「真剣に」「学ぶ泗水っ子の育成」  
「そろえる」「続ける」「チーム泗水」

オール泗水を通して

## 運動会の秋への延期を決定

昨日五月十七日(月)に通知しましたとおり、二十三日(日)に予定していました運動会を秋に延期することにいたしました。今週末に運動会を予定していました菊池市内の全小学校在延期することになりました。

熊本県では、新型コロナウイルス感染症対策として、「まん延防止等重点措置」が十六日(日)から適用になり、菊池市内でも感染者数が増加傾向にあることから、児童ご家族、教職員の命と健康を守るという観点から判断をしたところ

です。  
先日、十五日(土)には、運動会前愛校作業に多くの保護者の皆様にご協力いただいたばかりで、その後延期を決定することになり、大変申し訳ありません。

児童には、十七日(月)に、運動会を秋に延期したこと、その理由を説明しました。六年生や応援団の児童を中心に練習に励んできてくれたのに、残念な気持ちでいっぱいだと思います。朝から運動会を楽しみに

登校していた児童を思つて大変残念ではありますが、秋に安心・安全な形で素晴らしい運動会を実施できればと思います。期日等が決まりましたら、お知らせします。  
保護者の皆様には、今回の決定につきましても、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

## 一万七千円分図書カード贈呈

この度、菊池市第三セクター連絡協議会から泗水小に、一万七千円分の図書カードの贈呈がありました。

これは、「存じの通り、菊池市内の道の駅や物産館等で買い物をした際に、レシートを市内の学校名が書かれた箱に入れていただき、それに添じて図書カードが贈られるというものです。

多くの皆様が泗水小の箱に入れてくださったようで、菊池市内全十五校の小・中学校の中で最高額をいただきました。

本当にありがとうございます。図書購入費として大切に使用させていただきます。

## 「コロナ禍に育つ

### 児童を見て思う」

昨年度から一年以上も続くコロナ禍での学校生活。毎日、各教室を回って授業の様子を見ています。が、発表や挨拶・返事をする児童の声が聞き取れないくらい小さいことがよくあります。コロナ禍の学習・生活指導にあつて、大きな声を出させるといことが、感染防止対策としてできないことが原因ではないかと思ひます。

また、授業をする担任もマスクをしていきますので、発話の際の口形を児童に見せることができません。通常では、正しい口形を学ぶことが困難な状況です。

また、マスク着用によって、教師や友達の表情を見ることができないのは、児童の育ちの中で大切な部分を失っていくのではないかと心配しています。相手の表情から気持ちを想像し、思いやりのある行動をするという学びが、できにくくなっていると思ひます。

ICT機器の効果的な活用など工夫することで、大切な学びを保障する必要性を感じています。

## 「赤ペン先生」お世話になります

五月十一日(火)に、今年度の「赤ペン先生」の打ち合わせ会を行いました。今年度は、地域の方十二名にご協力をいただくことになりました。

一、二年生がお世話になります。基礎学力の向上が第一の目的ですが、地域の方々との交流を通して、地域やふるさとを大切に児童の育成を図ることも目的となります。

内容としては、国語、算数の基礎的な問題を児童が解いたものを、「赤ペン先生」に答え合わせをしていただきます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでした。今年度は、フェイスマスクやアクリル板の設置など、感染対策をたうえて実施する計画です。

六月一日(火)から開始します。地域の皆様には大変お世話になります。ご協力をよろしく願ひいたします。